

令和7年度 第2回学校評価アンケート結果(児童) 梨の里小学校

- ・すべての質問で8割以上の肯定的な回答が得られた。
- ・特に、9割以上の肯定的な回答が得られた項目は、
 - 「1. みんなと学ぶことは楽しい」(96.9%)
 - 「4. 学校のきまりをまもっている」(94.3%)
 - 「7. マイタブレットを使った授業は、勉強に役立っている」(92.5%)
 - 「9. こまわっているときに、気づいてくれたり、声をかけてくれたりする友達が学級にいる」(92.7%)
 - 「10. 友だちや学級のために行動している」(94.0%)
 - 「11. みんなで力を合わせて取り組んで、うれしかったことがある」(95.9%)
 - 「13. 先生はあなたの話を聞いてくれる」(93.8%) の7項目であった。
- ・第1回と比較し、ポイントが大きく下がった項目は、
 - 「2. 登下校のとき、きちんと並んでいる」
 - 「14. 自分には、ゆめや大きくなったらやってみたいことがある」 の2項目であった。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
1. みんなと学ぶことは楽しい。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	290	75.1	75.6	-0.8	9割以上の児童が、肯定的な回答をしている。仲間との対話を通して、多様な考えから学びを深めることの楽しさや価値を見ることが実感できるよう努めていく。
すこしあてはまる	84	21.8	22.0		
あまりあてはまらない	9	2.3	2.1	0.8	
あてはまらない	3	0.8	0.3		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
2. 登下校のとき、きちんと並んでいる。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	150	38.9	44.0	-3.1	道いっぱいに広がって歩いたり、追いかけてこをしながら下校したりと、危険な行動をしている話も耳に入ってくる。自分の命は自分で守る行動のできる児童を、学校と家庭が連携して育てていく必要がある。
すこしあてはまる	174	45.1	43.0		
あまりあてはまらない	52	13.5	9.3	3.1	
あてはまらない	10	2.6	3.6		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
3. 学校や登下校で、地域の大人の人や先生、友達にあいさつをしている。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	225	58.3	63.5	-0.3	あいさつは、良好な人間関係を形成するために身につけさせたい習慣である。家庭教育を基盤とし、学校・地域が一体となって気持ちの良いあいさつのできる児童を育てていくことが必要である。
すこしあてはまる	118	30.6	25.6		
あまりあてはまらない	32	8.3	9.3	0.3	
あてはまらない	11	2.8	1.6		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
4. 学校のきまりを まもっている。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	204	52.8	59.1	0.0	学校での道徳教育と、各家庭での教育により、社会のルールを守る規範意識の高い児童を育てていく。
すこしあてはまる	160	41.5	35.2		
あまりあてはまらない	19	4.9	4.9	0.0	
あてはまらない	3	0.8	0.8		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
5. 早ね早おきや手あらいなどきちんとできている。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	165	42.7	51.8	0.3	すこやか週間での取り組みの工夫や家庭との連携により、正しい知識と判断力や実践力を身に付け、生涯にわたって健康行動がとれる児童を育成していきたい。
すこしあてはまる	165	42.7	33.4		
あまりあてはまらない	43	11.1	13.2	-0.3	
あてはまらない	13	3.4	1.6		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
6. 授業はわかりやすく楽しい。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	217	56.2	57.0	2.1	1学期より仲間とつながり、多様な考えから学びを深める授業づくりを行ってきた。体験的・探究的な活動を取り入れながら児童が主体的に学びたくなる授業づくりをしていく。
すこしあてはまる	128	33.2	30.3		
あまりあてはまらない	32	8.3	9.8	-2.1	
あてはまらない	9	2.3	2.8		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
7. マイタブレットを使った授業は、わかりやすく、勉強に役立っている。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	245	63.5	64.0	0.0	9割以上の児童がマイタブレットの有効性について実感している。学校では日常的にマイタブレットを活用した授業が展開されてきている。今後は個々の学びが深まるよう効果的な活用について研究を進めていく。
すこしあてはまる	112	29.0	28.5		
あまりあてはまらない	26	6.7	6.5	0.0	
あてはまらない	3	0.8	1.0		

8. じゅぎょうちゅう、ともだちの はなしをきいたり、ともだちと はなしあったりすることで、もっとよいかんがえが うかぶことがある。(低学年)				第1回	比較増減	結果・考察
学級の友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、考えを広げたりすることができている。(中学年・高学年)						
あてはまる	209	54.1	52.6		0.5	本校では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、仲間との「つながり」を意識した授業づくりを行っている。どの学級でも仲間の考えを聞いて自分の考えを深めようとする姿勢が育ってきている。
すこしあてはまる	136	35.2	36.3			
あまりあてはまらない	31	8.0	8.5		-0.5	
あてはまらない	10	2.6	2.6			

(人)			(%)	(%)	(P)	
9. こまっているときに、気づいてくれたり、声をかけてくれたりする友達が学級にいる。			第1回	比較増減	結果・考察	
あてはまる	273	70.7	71.0	0.3	各学級では、日々の授業や活動、行事等を通して様々な手立てをとりながら人間関係を育ててきた。3学期も引き続き、児童同士の絆を強くし、次の学年へつなげていく。	
すこしあてはまる	85	22.0	21.5			
あまりあてはまらない	21	5.4	4.7	-0.3		
あてはまらない	7	1.8	2.8			

		(人)	(%)	(%)	(P)	
10. 友だちや学級のために行動している。				第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	212	54.9	59.6		1.3	2学期は大きな行事や授業での学び合いを通して学級の役に立ったと実感した児童もいる。3学期も個々の自己有用感を高めていく。
すこしあてはまる	151	39.1	33.2			
あまりあてはまらない	18	4.7	6.5		-1.3	
あてはまらない	5	1.3	0.8			

		(人)	(%)	(%)	(P)	
11. みんなで力を合わせて取り組んで、うれしかったことがある。				第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	308	79.8	73.1		1.6	2学期は大きな行事を中心に、協力して成し遂げた喜びを実感できた。3学期は、学習発表会や卒業生を送る会などを通し協調性を育み、次の学年へ良い形でつなげていけるようにする。
すこしあてはまる	62	16.1	21.2			
あまりあてはまらない	13	3.4	3.1		-1.6	
あてはまらない	3	0.8	2.6			

		(人)	(%)	(%)	(P)	
12. 自分にはよいところがある。			第1回	比較増減	結果・考察	
あてはまる	215	55.7	58.5	-1.0	自分の良さを理解している児童は、困難を乗り越えることができる。学校や家庭では、児童が自分のよさを自覚できるような働きかけを継続的にしていく必要がある。	
すこしあてはまる	120	31.1	29.3			
あまりあてはまらない	35	9.1	9.1			
あてはまらない	16	4.1	3.1			

		(人)	(%)	(%)	(P)	
13. 先生は、あなたの話を聞いてくれる。			第1回	比較増減	結果・考察	
あてはまる	290	75.1	71.2	-0.3	児童にとって、最後まで話を聞いてくれる教師の存在は、学校生活に安心感を与えると同時に、何事にも挑戦しようとする勇気を与える。教師は傾聴の姿勢を大切にして一人一人と接していきたい。	
すこしあてはまる	72	18.7	22.8			
あまりあてはまらない	20	5.2	4.4	0.3		
あてはまらない	4	1.0	1.6			

			(人)	(%)	(%)	(P)
14. 自分には、ゆめや大きくなったら やってみたいことがある。			第1回	比較増減	結果・考察	
あてはまる	262	67.9	75.1	-2.8	学校でも家庭でも、様々な人との出会いや体験の機会を大切にしたい。また、一人一人の良さや好奇心を尊重することも大切にしたい。日々の会話が、児童の夢や希望に大きな影響を与える。	
すこしあてはまる	78	20.2	15.8			
あまりあてはまらない	29	7.5	6.0			
あてはまらない	17	4.4	3.1			

(人)			(%)	(%)	(P)	
15. 家の人と学校のことをよく話す。			第1回	比較増減	結果・考察	
あてはまる	225	58.3	60.6	1.0	1日の大半を学校で過ごす児童は、たくさんさんの思いを家庭に持ち帰る。家庭では、心身の健康状態の把握や愛着形成のためにも、「後でね」ではなく、「聞いてほしいとき」に手を止め耳を傾けることを引き続きお願いしたい。	
すこしあてはまる	102	26.4	23.1			
あまりあてはまらない	42	10.9	11.4	-1.0		
あてはまらない	17	4.4	4.9			

令和7年度 第1回学校評価アンケート結果(保護者) 梨の里小学校

・肯定的な回答が8割以上あった項目は、10項目。中でも、9割以上の肯定的な回答が得られた項目は、以下の通り。

1. お子さんは、元気に学校に通っている (96.5%)
2. お子さんは家庭であいさつができています (96.8%)
9. お子さんは、困ったことや心配なことがあれば家族に相談する。(90.8%)
11. 学校は、校内の環境整備に努めている。(91.3%)
12. 学校は、交通安全、防災、防犯、アレルギー対応等、校内外での子どもたちの安全確保に努めている。(92.7%)
13. 学校は、保護者や地域への情報発信に努めている」(93.9%)

・肯定的な回答が半数に満たなかった項目は、以下の通り。

5. お子さんは、家で、iPadを使って自主的に学習に取り組んでいる (28.6%)
7. お子さんは、毎日、家で本を読む習慣が身に付いている」(37.6%)

	(人)	(%)	(%)	(P)	
1. お子さんは、元気に学校に通っている。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	291	84.3	84.3	-0.6	9割を超える保護者がお子さんは元気に学校に通っている」とらえている。しかし、否定的な回答が一定数あるため、学習や人間関係において一人一人の状況把握に努め、必要な支援を講じていく。
ややあてはまる	42	12.2	12.8		
あまりあてはまらない	5	1.4	2.6	0.0	
あてはまらない	5	1.4	0.3		
わからない	2	0.6	0.0	0.6	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
2. お子さんは、家庭であいさつができています。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	236	68.4	68.4	0.5	社会性を身につける上で基本となる「あいさつ」は、家庭教育を基盤に、学校、地域が一体となって、気持ちの良いあいさつができるよう育てていきたい。
ややあてはまる	98	28.4	27.9		
あまりあてはまらない	11	3.2	3.1	-0.5	
あてはまらない	0	0.0	0.6		
わからない	0	0.0	0.0	0.0	

		(人)	(%)	(%)	(P)	
3. お子さんは、早寝早起きや手洗い等の基本的生活習慣が身に付いている。				第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	155	44.9	43.2	-0.6	家庭での基本的な生活習慣の確立は、生涯に渡って健康生活を送るための基盤となる。年齢が上がるにつれて生活習慣が崩れることもあるため、小さい頃から早寝早起きや、朝食を食べるといった習慣を大切にしていきたい。	
ややあてはまる	143	41.4	43.8			
あまりあてはまらない	38	11.0	9.7	0.6		
あてはまらない	9	2.6	3.4			
わからない	0	0.0	0.0			0.0

		(人)	(%)	(%)	(P)	
4. お子さんは、学校の授業はわかりやすく楽しいと言っている。				第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	114	33.0	39.4	-5.2	同じ質問に対して、児童は9割近くが肯定的な回答であった。第1回の結果同様、保護者と児童の回答に大きなギャップがある項目である。	
ややあてはまる	147	42.6	41.4			
あまりあてはまらない	45	13.0	11.1	2.5		
あてはまらない	13	3.8	3.1			
わからない	26	7.5	4.9	2.7		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
5. お子さんは、家で、Myタブレットを使って自主的に学習に取り組んでいる。			第1回	比較増減	結果・考察
あてはまる	25	7.2	7.7	3.8	Myタブレットには家庭学習に有効活用できるアプリが入っている。宿題にプラスしてドリル学習アプリを行ったり、プログラミング学習や、描画、調べ学習、読書などに活用したりしている児童もいる。自主学習の一つとして、家庭で活用していただきたい。
ややあてはまる	74	21.4	17.1		
あまりあてはまらない	109	31.6	33.7	-4.4	
あてはまらない	132	38.3	40.6		
わからない	5	1.4	0.9	0.6	

	(人)	(%)	(%)	(P)	
6. お子さんと、テレビやゲーム、iPad、携帯電話等の使い方について話し合ったり、ルールを作ったりしている。	第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	148	42.9	40.5		
ややあてはまる	154	44.6	47.9	-0.8	
あまりあてはまらない	33	9.6	7.4	1.1	
あてはまらない	10	2.9	4.0		
わからない	0	0.0	0.3	-0.3	子ども同士のSNSに関するトラブルの相談が数件あり、解決に向けて保護者同士の話し合いが必要になったものもあった。各家庭で安全な使用の仕方を話し合ったり、お子様の使用状況を確認いただいたりと継続的な未然防止に努めていただきたい。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
7. お子さんは、毎日、家で本を読む習慣が身に付いている。	第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	65	18.8	15.1		
ややあてはまる	65	18.8	22.8	-0.2	
あまりあてはまらない	80	23.2	23.6		
あてはまらない	134	38.8	38.2	0.2	
わからない	1	0.3	0.3	0.0	小学生の不読率(1か月に1冊も本を読まなかった者の割合)は、8.5%という調査がある。また、全国学力・学習状況調査では、読書好きは平均正答率が高い傾向もみられている。親子で読書に親しむ時間をつくるのができたらよい。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
8. お子さんと、将来の夢や、やってみたいことについて話をしている。	第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	90	26.1	29.9		
ややあてはまる	166	48.1	44.5	-0.2	
あまりあてはまらない	67	19.4	15.2		
あてはまらない	18	5.2	9.5	-0.1	
わからない	4	1.2	0.9	0.3	親子で夢や、やってみたいことについて話をする中で、自分の未来を見つめることができる。発達段階によっては、具体的な夢等をイメージできない児童もいるが、そうした状態もそのまま受け止め、未来への期待や前向きに生きる力を与えたい。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
9. お子さんは、困ったことや心配なことがあれば家族に相談する。	昨年第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	191	55.4	52.1		
ややあてはまる	122	35.4	39.9	-1.3	
あまりあてはまらない	22	6.4	5.1		
あてはまらない	4	1.2	1.4	1.0	
わからない	6	1.7	1.4	0.3	9割以上の家庭で、お子さんのSOSをキャッチできている。個々の困り感や、心配な状況を察知するためにも、良好な親子関係、良好な学校と家庭の関係を築き、双方で見守っていくことが大切である。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
10. 学校は、困ったことや心配なことがあると丁寧に対応してくれる。	第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	215	62.3	60.7		
ややあてはまる	92	26.7	28.2	0.1	
あまりあてはまらない	13	3.8	2.6		
あてはまらない	2	0.6	0.9	0.9	
わからない	23	6.7	7.7	-1.0	心配なことがあったら事が小さいうちに相談していただきたい。子どもの思いを大切にしながら、必要な支援をご家庭とともに考えていきたい。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
11. 学校は、校内の環境整備に努めている。	第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	247	71.6	68.4		
ややあてはまる	68	19.7	22.5	0.4	
あまりあてはまらない	1	0.3	1.4		
あてはまらない	0	0.0	0.3	-1.4	
わからない	29	8.4	7.4	1.0	本校のゆとりある環境を上手に整備・活用しながら、児童の安全・安心や、落ち着いた生活、心の成長等につなげていけるよう今後も考えていきたい。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
12. 学校は、交通安全、防災、防犯、アレルギー対応等、校内外での子どもたちの安全確保に努めている。	第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	264	76.5	77.2		
ややあてはまる	56	16.2	10.3		
あまりあてはまらない	5	1.4	8.0	5.3	
あてはまらない	0	0.0	0.3		
わからない	20	5.8	4.3	-6.8	
				1.5	「行ってきます」と出かけた子が、笑顔で「ただいま」と帰ることができるよう、安全点検やダブルチェック等による未然防止、事故等の発生時に備えた体制づくりや訓練など、安全確保に努めていく。また、児童一人一人の安全意識の向上にも努めていく。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
13. 学校は、保護者や地域への情報発信に努めている。	第1回	比較増減	結果・考察		
あてはまる	256	74.2	71.0		
ややあてはまる	68	19.7	23.9	-1.0	
あまりあてはまらない	6	1.7	1.1		
あてはまらない	1	0.3	0.6		
わからない	14	4.1	3.4	0.3	
				0.6	学習に関わる連絡事項の伝達や、けがやトラブルに関わることは正しく迅速に心を掛け、丁寧に伝えていく。また、地域へも積極的に情報発信すること、たくさんの方の目で見守る児童の成長を見守っていけるようにしたい。